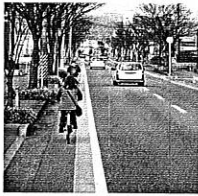


見附市の取り組み

マイカー依存解消狙う



道路幅員の乏しさをめぐって、自動車と自転車を分離し、安全な自転車の利用環境をつくる「自転車通行困難解消」の取り組みが、見附市でスタートした。これまでは、歩道幅が狭く、自転車の通行が困難な場所が多くあったが、この取り組みにより、安全な通行環境が整備されることを目指している。

自転車通行空間

道路幅員の乏しさをめぐって、自動車と自転車を分離し、安全な自転車の利用環境をつくる「自転車通行困難解消」の取り組みが、見附市でスタートした。これまでは、歩道幅が狭く、自転車の通行が困難な場所が多くあったが、この取り組みにより、安全な通行環境が整備されることを目指している。

利便性向上へ増車方針



市内の主要施設や観光地を訪れる観光客の増加に伴い、公共交通機関の利便性向上を図るため、バス車両を増車する方針を明らかにした。また、高齢者の利用を促進するため、車いすの設置や乗降補助の強化も実施する予定だ。

「健幸」の拠点にも活用



高齢者の健康維持と地域交流の拠点として活用される施設が、見附市にある。高齢者の生活相談や健康相談、地域のイベントの開催など、幅広い役割を果たしている。

三上市の取り組み

高齢者集う仕掛け必要



高齢者の孤立を防ぎ、地域での集いを促進するための仕掛けが必要だと指摘されている。地域交流の場の確保や、健康相談の充実などが重要だとされている。

三上市マルシェ



地域の農産物や手工艺品を販売するマルシェが、三上市で定期的に開催されている。地域の活性化と消費者の健康志向を促進している。

街づくり「歩く」視点を



住んでいなくても健康になる街づくりを考える「スマートウエルネスシティ」が、20日、見附市で開かれた。参加者から「歩ける街づくり」への関心が高まっていることが確認された。

広野 久野氏 外出促す「広場」整備へ

久野 啓二氏、広野 進氏らが、市内の広場を整備し、高齢者の外出を促す取り組みを進めたいと訴えている。

市内の主要施設や観光地を訪れる観光客の増加に伴い、公共交通機関の利便性向上を図るため、バス車両を増車する方針を明らかにした。また、高齢者の利用を促進するため、車いすの設置や乗降補助の強化も実施する予定だ。

広井 人の絆育み地域を再生

広井 進氏、生田 功氏らが、地域の絆を育み、地域を再生する取り組みを進めたいと訴えている。

地域の絆を育み、地域を再生する取り組みを進めたいと訴えている。地域交流の場の確保や、健康相談の充実などが重要だとされている。

運動不足 高い死亡原因

運動不足が健康被害をもたらしているという。高齢者の健康維持のためには、定期的な運動が不可欠だとされている。

高齢者の健康維持のためには、定期的な運動が不可欠だとされている。地域での集いや、健康相談の充実などが重要だとされている。

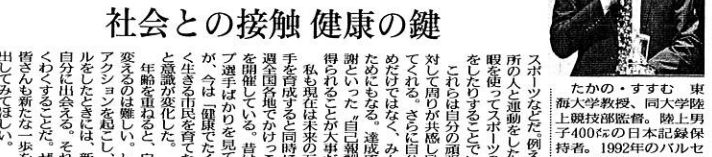
公共施設「SWC」の実現を目指す

公共施設として「SWC」の実現を目指す。高齢者の健康維持と地域交流の拠点として活用される施設の整備が重要だとされている。

公共施設として「SWC」の実現を目指す。高齢者の健康維持と地域交流の拠点として活用される施設の整備が重要だとされている。

東海大学・高野進教授講演

東海大学の高野進教授が講演した。高齢者の健康維持と地域交流の重要性について、具体的な取り組みを紹介した。



東海大学教授の高野進氏。講演中、高齢者の健康維持と地域交流の重要性について述べた。

社会との接触 健康の鍵

社会との接触が健康の鍵になるとされている。高齢者の健康維持のためには、定期的な社会交流が不可欠だとされている。

講演中、社会との接触が健康の鍵になると述べた。

「私達もスマートウエルネスシティの取り組みに期待しています」

久野 啓二氏
健康維持と地域交流の重要性について述べた。

企画・制作 / 新潟日报社企画事業部